

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録／Japan Studies Program J		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	「クリエイションの現場」～インスピレーションの源泉としての音楽		
担当者名 (Instructor)	アキコ・グレース(AKIKO GRACE)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ICC2620	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	定員：30名		

授業の目標(Course Objectives)

音楽制作を原点に”日本文学と音楽”、”音楽と映像”、”五感とクリエイション”など学際的なアプローチで音源や作品を考察し、創造の現場について理解を深める。国際的な視点をもって芸術文化を見つめ、日本独自の感性についても、伝統と革新の両方から考察する。さらに、ディスカッションや発表を通して発想力を身につけ、自身の専門分野をより広い文脈で捉えられるようになる。音楽、映像、建築、絵画、文学など、何らかのクリエイションに強い興味を持っている学生の履修が望ましい。

In this course, students will explore the scene of interdisciplinary creativity, placing music at the center, through topics such as “Japanese Literature and Music”, “Music and Video Art”, and “The Five Senses in Creativity”, examining various art forms. Students will learn about music, art, and culture from an international point of view, and gain a new appreciation of sensitivities unique to Japanese culture, both traditional and modern. Discussions and presentations on these topics will sometimes be held in the classroom when students will be able to investigate various ways of expressing themselves to convey their ideas to others, which will help them to comprehend their field more extensively. It is desirable that students have deep interests in creation, such as music, video arts, architecture, visual arts, and literature, etc.

授業の内容(Course Contents)

ピアニスト・作曲家として日米を主な活動拠点とし、アルバム制作、映画音楽、視覚芸術とのコラボレーションなど創作活動を行っている立場から、制作現場の要所を伝え、ゆたかな発想への気づきを促す。ディスカッションや発表の機会を随時設けて、学生自身にも表現する喜びを感じてもらい、実際に作品や演奏に触れてもらう。コミュニケーションとしての即興演奏を体感してもらう目的で、即興演奏家をゲスト(ベース奏者・パーカッション奏者・管楽器奏者などから)として招聘しセッションする場も設ける。

As a pianist and composer who has been active (mainly in the U.S. and Japan) releasing albums, working with film and visual art, and so on, the lecturer will convey the diverse aspects of creating music and inspire awareness of the richness of the imagination. Discussions and presentations will be facilitated regularly for participants to experience the joy of self-expression. There will also be a live performance with a guest performer (such as bassist, percussionist, wind instrumentalist, etc.) invited to the classroom during the semester to provide a session with the aim of presenting conversational improvisation as a form of non-verbal communication.

授業計画(Course Schedule)

1. 「クリエイションの現場」発想の源泉～創造的な思考力とは
2. 沈黙は聞こえるのか？～日本文学と音楽(月を弾く、オノマトペ)
3. コミュニケーションとしての音楽、即興演奏とは～通奏低音からフリージャズまで
4. 波形としての音楽～音律と周波数、宇宙空間の音楽
5. 音楽と映像～音の色彩、音のテクスチュア
6. シュールレアリスムと音楽～コラージュとミュージック・コンクレート
7. 五感とクリエイション～味覚・触覚・嗅覚の創造活動
8. 耳に聞こえない音～ハイパーソニック・サウンド
9. 建築とクリエイション～世界のモダニズム建築、立体的な音
10. VR(バーチャルリアリティ)と音楽～仮想三次元のクリエイション
11. 頭の中の音楽～ゲシュタルトとしての作曲、夢の心理学
12. 謎解きと音楽、カラクリのある作品～錯覚と脳のメカニズム
13. 至高のコラボレーションとは？～世界から見た日本の美意識
14. 創造のモチベーション～インスピレーションの源泉としての音楽

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

事前学習については毎回の授業で指示する。

成績評価方法・基準(Evaluation)

授業内のコメントペーパーと授業への参加度(60%) / 最終レポート(Final Report)(40%)

単位取得のためには3/4以上の出席が必要。

テキスト(Textbooks)

各授業回、もしくは事前に資料/プリントを配布する。ゲスト回で講義内容が変更になる場合がある。

参考文献(Readings)

テキストの指定は特にないが、下記に挙げた音楽 CD は講義の中でトピックとして扱う。

参考資料(CD アルバム)

Akiko Grace, グレースフル・ヴィジョン, コロムビアミュージックエンタテインメント, 2008.10

Akiko Grace, ピアノリウム, コロムビアミュージックエンタテインメント, 2009.1/ 2016.7

その他(HP 等)(Others(e.g.HP))

公式ページ www.akikograce.com

注意事項(Notice)